

○タイトル『千葉観光課 梨祭』

○登場人物

・田宮（20代） 千葉県の外国人向けの観光課に働く青年。受け身な性格でよく物事を頼まれる体質。だが、突飛な閃きを思い付くと意気揚々とする。

・ボブ（30代） 観光課のアドバイザーとして雇われた米国人。明快な性格で何事にも乗り気。田宮と仲良く絡む。「面白ければそれでよし！」を信条にしている。

・その他

シーン1：観光課のオフィス

（オフィスの環境音、電話の鳴り声、キーボードの音）

ナレーター：千葉県観光課。若き田宮はデスクに向かい、深いため息をついていた。

田宮：（ため息）外国人観光客が少ない…。新

しいイベントを考えないといけないのに…。

(ドアが開く音)

ボブ…おはよう、田宮！今日もいい天気だね！

田宮…おはようございます、ボブさん…。でも、観光客の少なさには困っていますね。

ボブ…そうだね。何か新しいイベントを考えないと。でも、何をするかだよね。

田宮…そうなんです。何か海外の人もびつくりするようなイベントを…。

(ボブが突然閃く)

ボブ…そうだ！千葉って梨が有名だろ？梨を使ったイベントをしよう！

田宮…梨ですか？それは面白いかもしれませ
ん。でも、どうやって？

ボブ…スペインにはトマト祭があるじゃない
か。あれの梨バージョンをやるんだよ！

田宮…（驚いて）梨を投げ合うんですか？

ボブ…そうさ！楽しいし、インパクトがあ
る！

田宮…でも、怪我人が出ないか心配です…。

ボブ…大丈夫さ！楽しいイベントを作るのが
大事だよ。それに、安全対策もきちんと考え
れば問題ないさ。

シーン2: イベントの準備

（広場のざわめき、準備の音）

ナレーター…広場では、田宮とボブがイベントの準備に大忙し。観光課のメンバーや地元の人々も参加している。

田宮…梨を大量に準備しましたね…。本当にこれで大丈夫でしょうか？

ボブ…（笑顔で）心配ないさ、田宮。これだけの梨があれば、楽しいイベントになること間違いない！

観光課のメンバー…梨祭って聞いて、楽しみにしてきました！

田宮…ええ、楽しんでいただけるといいんですけど…。

シーン③：梨祭本番

（イベントの開始を知らせるアナウンス、歓

声)

ナレーター…ついに梨祭が始まった。広場には観光客や地元の人々が集まり、期待に胸を膨らませている。

観光客 1: (アメリカ人、興奮して) *Wow, this is amazing! I never thought I, d be throwing pears in Japan!*

観光客 2: (イギリス人、驚きながら) *This is absolutely bonkers! I love it!*

観光客 3: (オーストラリア人、笑いながら)
Mate, this is the best festival ever! So much fun!

田宮: ボブさん、みんな楽しんでますね。これなら観光客も増えそうですね。

ボブ… そうだね。見てよ、田宮！みんな笑顔
だろ？

観光客 1: (笑いながら) I can't believe how
much fun this is! We need more festivals
like this back home!

田宮… はい、確かに…。こんなに盛り上がる
なんて思いませんでした。

ボブ… そうさ、田宮。楽しいことをやれば、自
然と人は集まるんだよ。

シーン ♪ イベント終了後

(片付けの音、疲れた声)

ナレーター… イベントが終わり、田宮とボブ
は広場を片付けながら話していた。

田宮… ボブさん、今日は本当にありがとうご

ございました。これだけの人が集まるとは思い
ませんでした。

ボブ…いやいや、田宮が頑張ったからだよ。
それに、みんなが楽しんでくれたから成功だ
よ。

観光客 2: (イギリス人、感謝の気持ちで)
Thank you for organizing this! It was
unforgettable!

観光客 3: (オーストラリア人、笑顔で) Can't
wait to tell my friends about this back
home. Cheers, mate!

田宮: これからも、こんな楽しいイベントを
考えていきたいですね。

ボブ: そうだね。次は何をやるうか? (笑)

田宮…ええ、次もまた楽しいアイデアを考え
ましよう！

エンディング

(エンディングテーマ音楽、フェードアウト)

ナレーター…田宮とボブが笑い合いながら広
場を後にする。イベントの成功を胸に、新た
なアイデアを模索する二人の姿が描かれる。
また次の楽しいイベントに期待が高まる。